

特集 2014年 つなげよう！食の安全・笑顔の絆

# さが農業まつり

今月号の特集では、2月5日～9日までの5日間、有明佐賀空港東特設会場で行った「2014年さが農業まつり」の様子を振り返ります。



焼肉  
コーナー



農業機械  
コーナー



期間中は、管内の農家組合員から県外の消費者まで、7万8000人もの来場があり、大いににぎわいました。



園芸  
コーナー



自動車  
コーナー



緑化木  
コーナー



ふれあい生活  
情報コーナー

ご来場 ありがとうございます



富士町青年部・女性部は「夢をかなえてドラえもん」を披露



多久地区女性部は「花は咲く」を披露



# JA対抗戦

組合員によるステージ発表。  
趣向を凝らしたステージを披露し、  
会場を沸かせました。



2014年 さが農業まつり  
JA・地区選抜対抗戦  
はずしちやタツよ! 紙風船割り大会  
カラオケ大会

神埼郡女性部は  
「アンパンマンのマーチ」に挑戦



太良女性部チームは  
「みだれ髪」を披露



「サザエさん」で  
会場を盛り上げる  
牛津・砥川女性部

南有明支所女性部シルバー会  
ふれあい学級は「芸者ワルツ」を披露



チーム山内は  
「浪花節だよ人生は!」に挑戦!



「佐賀はよか」と披露する中部地区女性部



「ソーラン祭り」に挑戦する  
さが東部女性部北茂安チーム



鹿島女性部チームは  
「会いたかった」で盛り上げた



「明日のショー」  
を熱唱する  
久保田支所青年部の  
松尾直樹さん



川副地区女性部は「えびす音頭」に挑戦



「はずしちやタツよ!  
紙風船割り大会」では  
チーム力を発揮!!



# テーマ館 イベント

連日、さまざまな体験  
イベントを用意。  
県産農畜産物を使った  
簡単料理から堆肥作り、  
木工品作りまで、  
多くの人に参加しました。

みそ作り教室

毎年恒例の  
人気イベント

ガーデニング教室



安全・安心!  
手作りみそ!



華やかな  
寄せ植えが完成♪

かわいく  
出来ました!

キャラ弁づくり



親子で  
楽しく!

米粉デコレーション  
パンケーキづくり



「さがほのか」で  
デコレーション♪

簡単木工教室



親子で協力。  
オリジナルイスの完成!!



# 産直 コーナー

県内各地の自慢の  
農畜産物が勢ぞろい!!  
たくさんの人でにぎわい、  
安全・安心な佐賀の農畜産物を  
買い求めていました。



佐賀市



高士町



黒崎町

中部地区



酪農



各地区の自慢の農産物がずらり!



佐城地区



絶品!!牛丼&  
カレーパン

佐賀牛カレーパンは、  
毎日長蛇の列!!



神埼地区



みどり地区



佐賀産和牛  
たっぷり♪



東部地区



白石地区

# ステージ イベント

連日さまざまな  
ステージが繰り広げられ、  
会場一体となって  
盛り上がりました。



「よさこい」で会場一体に



子どもたちに大人気!!  
アンパンマンショー



はなわさんによる  
お笑いステージ。大いに  
盛り上がりました!

## 読者プレゼント!! はなわさんのサインを10名様に

- 郵便はがきに①氏名②郵便番号③住所④電話番号  
⑤本誌やJAへのご意見を記入し次のあて先まで。
- あて先 〒840-0803 佐賀市栄町2-1  
JAさが広報課読者プレゼント係
  - 応募締切 26年4月15日(火)まで
  - ※当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。
  - ※個人情報の取り扱いについて  
お寄せいただいた個人情報は賞品の発送に使用させてい  
ただき、この目的以外に使用することは一切ありません。



さがみかんきち  
も仲間入り



消防音楽隊プラスバンド



ゆるキャラ大集合!!



**佐城** 育てた大豆で元気に「鬼は外」  
—— 中川副小学校豆まき



4 元気いっぱい豆まきを行う児童

佐賀市立中川副小学校の1、2、4年生の約50人は2月3日の節分に、同校で掛け声勇ましく豆まきを行いました。

使った大豆は、川副町の吉武幸一さんの田んぼで4年生が育てたものです。豆まきは、子どもたちに楽しんでもらおうと吉武さんら地域住民が企画。児童は、鬼役となった吉武さんらと一緒に「鬼は外、福は内」と叫びながら力いっぱい豆をまきました。吉武さんは「子どもたちと一緒に自分たちも楽しむことができた。元気をもらったような気がする」と話しました。

参加した児童は「外で豆まきしたのは初めてだった。風邪などひかないようしっかりお願いした」と笑顔で話しました。

**佐城** まろやかな甘みとコクのある蔵出しミカン  
—— ブランドミカン「あんみつ姫」



▲貯蔵庫で出荷に向け入念にチェックを行う江口さん

大和中央支所管内で、貯蔵した温州ミカンの蔵出し作業が順調に進んでいます。大和みかん選果場に持ち込まれたミカンは、外観・品質により区分後、光センサー（糖度分析機）で糖度分析を行い、ブランドミカン「あんみつ姫」として、関東・関西方面の市場に向け3月末まで出荷します。

大和町で約7ha生産する江口直人さんは、昨年11・12月に収穫した温州ミカンのうち、約100tを貯蔵。貯蔵中は夜や明け方などの気温の低い時間帯に換気を行い、細心の注意を払っています。

25年度、同支所管内では約2300tを貯蔵。貯蔵することで果実を熟成させ、まろやかな甘みとコクのある蔵出しミカンに仕上げられています。

**佐城** ちやぐりん  
—— キッズクラブin佐城  
—— 育てた大豆で料理



▲楽しそうに料理する子どもたち

佐城地区は2月8日、次世代を担う子どもたちに農産物にふれる機会を設け、生産者の努力や農業の大切さを知ってもらおうと「ちやぐりんキッズクラブin佐城」を開き、4回目の今回は20人が参加しました。

前回収穫した大豆を使い、豆腐やみそ、おからハンバーグ作りに挑戦。みそ造りでは、煮た大豆を袋でつぶし、麴とよくかき混ぜて仕込み容器で保存。みそ造りを体験したことがある子どもも多く、慣れた手つきで作業を行っていました。

おからハンバーグ作りでは、いろいろな形のハンバーグを作っていました。

最後となる今回は「うどん作り」に挑戦します。

**中部** 厳かに神事  
—— 中部地区北部営農センター落成式



▲厳かに神事を行った

中部地区は2月13日、北部営農センター落成式を行い、JA役員や工事関係者ら50人が出席。改修工事の完成と同センターが末永く堅固であるよう祈願しました。

同地区（佐賀市）は、支所機能強化（再編）の一環として、出向く体制の拡充と事業効率化に取り組んでいます。

工事では、防犯・防火対策の強化や事務所スペースの増床を行いました。新たに受付カウンターや相談コーナーを設置し、組合員の利便性を向上。また、南部営農センターとの連携を強化します。

同地区の福井敏晴常務理事は「組合員の各種要望や相談に応えられるよう、役員一丸となり取り組んでいく」と話しました。



中部

豆腐作り指導

諸富町女性部



▲一つ一つ教わりながら豆腐を作った

諸富町支所は2月20日、佐賀市立諸富南小学校で同支所女性部と一緒に豆腐作り体験を行いました。

挑戦したのは同校3年生41人です。児童は大豆の栽培から加工まで、1年を通して体験しました。

児童たちは、水に浸した大豆をミキサーにかけてものに火を通し、豆乳とおからに分けました。その後、豆乳に「にがり」を入れて豆腐を完成させ、試食も行いました。

J Aの生活指導員が作ったおからサラダも大好評で、児童たちは大豆の栄養素を丸ごと味わうことができました。

下半期に向けた協議

佐城きゅうり部会中間検討会

佐城



▶市場は「品質はとも良い。他産地より佐城のキュウリが欲しい」と評価した

佐城きゅうり部会は2月20日、佐城地区中央支所で25年産佐城きゅうり中間販売検討会を開きました。部会員やメーン出荷市場、J A役員ら約60人が参加し、上半期の出荷実績の検討と下半期に向けた栽培研修会を行いました。

25年度同部会では、24年度より2戸増の44戸の生産者が約11ha（前年対比106%）を作付け。  
1月末時点の出荷量は987・8t、販売金額3億5980万円、キロ当たりの販売単価364円と24年度を上回る販売実績です。  
同部会は6月までに、出荷量2500t（同103%）、販売金額7億円を目標に掲げ、県下トップの成績を目指します。

中部

地域のお祭り大盛況

兵庫農業まつり



▲まつりは多くの人でにぎわった

兵庫支所農政協議会は2月23日、中部地区旧兵庫支所駐車場で開催された兵庫農業まつりを行いました。

ミニトマトやイチゴなどの新鮮野菜の即売コーナーや県内産の和牛、野菜などを使った焼肉コーナーを設け、来場した地域住民らは農畜産物を買ってほしいと求めています。

お楽しみイベントとして米のつかみ取りやポン菓子の実演・試食、豚汁とおにぎりの試食があり、お楽しみ抽選会では、来場者は行列を作ってイベントを楽しみました。

隣接する兵庫公民館では文化祭も開催。ダンスなどの舞台発表や作品展示、防災体験コーナーとして無洗米を使った炊出し訓練の体験やAEDの操作体験なども行いました。

また、兵庫小学校では消防団による放水競技模範演技なども行われました。

中部

全国の生産者と意見交換

—第6回春の七草生産者交流会



▶あいさつを行う富士町七草部会の畑瀬米光部会長

富士町七草部会は2月25日、武雄市内で第6回全国春の七草生産者交流会を開き、全国の春の七草生産者とJ A・販売業者ら約100人が参加しました。  
同交流会は全国の春の七草生産者の意見交換や交流の場として2年に1度開いているもので今回で6回目です。  
交流会では、産地紹介として同部会の活動内容を報告。同部会では正月7日までの出荷に向けて収穫やパック詰め作業を行っており、25年度は3戸の農家が約36万パックを九州の市場を中心に東京や関西などにも出荷しました。  
また、料理研究家でフードプロデューサーの橋本祐充氏が「環境と人がむすぶ地域ブランドの宝」と題し講演も行いました。